

◆DX推進方針進捗状況一覧◆

No	DX推進方針の ビジョン	施策例	R6年度の取組内容	R7の取り組み	今後に向けた取り組み	今後の計画への反映
1 市民の利便性向上						
1 - (1)	オンライン手 続きの拡充	書面や電話でのみ受付し ている手続きを電子申請 フォームにて用意（ちば 電子申請サービス、びっ たりサービスを活用）	ちば電子サービスの利用状況 手続き数418件 申請数22,329件 びったりサービスの利用状況 手続き数30件 申請数1,911件	窓口業務77手続きについて、 電子申請が可能となるよう取 り組む	全ての手続きについて、電子 申請が可能となるよう取り組 む	引き続き、実行戦略のリスト で管理
		市の規則等で示されてい る様式について、不要な 押印箇所の削除	押印が必要な手続き1,572件の うち、1,164件が押印不要と なった（R7/3/31現在）	引き続き、例規改正の際に、 押印廃止を行うよう指導して いく	公印についても省略が可能と なるよう取り組む	引き続き、実行戦略のリスト で管理
1 - (2)	マイナバー の利活用	マイナバーカード交付 円滑化計画の遂行	マイナバーカードの交付枚 数（R7/3/31現在） 96,466枚（交付率86.7%）	マイナバーカードの交付枚 数（8/31現在） 103,741枚（交付率92.8%）	今後、更新の手続きが増加す る見込みであるため、申請窓 口の増設等を検討する	担当課において進行状況及び 数値を管理し、窓口改革につ いては当該がフォローする
		マイナバーカードの健 康保険証利用の促進	国保年金課、各支所で健康保 険証の紐づけサポートを実施 現行の保険証は2025年12月1日 まで使用可能と方針が示され た	引き続き、保険証の紐づけサ ポートを実施	窓口にタブレット端末を設置 し、紐づけサポートを継続す る	
		国のマイナバーカード を活用した施策への協力 （マイナポイント事業 等）	R5年度でマイナポイント事業 が終了	引き続き、国の施策に協力し 問い合わせ等に対応	引き続き、国の施策に協力し 問い合わせ等に対応	
		情報提供ネットワークシ ステムの活用による、市 への提出書類の削減	保険証の写しを添付していた 事務において、マイナ保険証 に対応するため独自利用事務 （保険証情報）を追加	新たな手続きは特になし	引き続き、情報連携が可能な ものに対して添付書類を求め ていないか注視していく	
1 - (3)	市からの情報 提供方法の見 直しと拡充	印西市公式ホームページ のコンテンツ見直し	CMSの契約が満了するため、R7 年度に向けて調査を実施	現行のCMSの契約を1年延長 し、全体的な構成の見直しを 行い8年度に向けて仕様を検討 中	コンテンツの作成ルール等を 検討する	引き続き、実行戦略のリスト で管理
		公開型地理情報システム の見直し	オープンデータの公開と併せ て公開型GISの地図情報も更新 する	引き続き取り組みを継続する	引き続き取り組みを継続する	引き続き、実行戦略のリスト で管理
		防災専用ホームページの 整備	構築済み	—	—	
		LINE（セキュリティも考 慮し、市からの情報発信 に活用）の導入	保育課で行う入園相談（次年 度4月入園のみ）、確定申告 の相談相談についてLINE予約 を実施	婚姻届けの窓口予約を実施	LINE予約を他の窓口相談に拡 大	担当課において進行状況及び 数値を管理し、当該はフォ ローしていく
		チャットボットの導入	AIチャットボットを実装し、 のべ13,387アクセスに対し、 37,976件回答（R6.4～R7.3）	引き続きQ&Aを見直しながら正 答率向上を図る	生成AI、独自情報を用いて、 より正確なチャットボットの 提供を目指す	
		子育て支援アプリの導入	引き続き検討	引き続き検討	保育園の通知にアプリを導入 し、子育て全般への拡大を目 指す	当該がフォローアップを行い、 担当課において進行管理を行 う
		SNSの情報発信件数の拡大		広報担当部署で広報戦略を作 成中	広報戦略に基づいた施策に取 り組む	担当課において進行状況及び 数値を管理し、当該はフォ ローしていく
		オープンデータ公開数の 拡充	2月末時点で24項目を公開	小型家電・廃食油回収拠点一 覧を追加し、25項目となった	オープンデータの更新頻度の 向上に向け検討実施	

◆DX推進方針進捗状況一覧◆

No	DX推進方針の ビジョン	施策例	R6年度の実組内容	R7の取り組み	今後に向けた取り組み	今後の計画への反映
1－（４）	自宅で利用で きるサービスの 拡充	図書館における電子書籍 の拡充	R3.7から電子図書館を運営	形態（買い切り、期間限定） に応じて資料を追加	今後も、ニーズに応じた資料 の追加に取り組む	担当課において進行状況及び 数値を管理し、当課はフォ ローしていく
		ふれあいバスの位置情報 がわかる位置情報（ロ ケーション）システムの 導入	バスのダイヤ改正に伴い遅延 緩和される見込みのため、導 入を再検討中	R8年度当初予算で要求予定	担当課と実装に向け取り組む	担当課において進行状況及び 数値を管理し、当課はフォ ローしていく
		印西市公共施設システムの 予約時の支払における キャッシュレス決済導入	R6.4～R7.3 公共施設予約におけるオンラ イン決済 43.4% 窓口キャッシュレスを含めると 47.1%	R7.4からパレットⅠ、Ⅱを追 加	引き続き安定稼働に取り組む	
		手数料等のキャッシュレ ス決済対応の拡大	R6.4～R7.3 市民課、支所、出張所におけ る手数料等のキャッシュレス 決済の割合12.8%	公立保育園の一時預かり保育 料について導入を検討	現金のやり取り、特に小銭は 職員の負担となるので導入を すすめていく	
		市役所や公民館等でのオン ラインでも参加可能な 講座の拡大	オンライン参加可能な講座を 健康増進課で実施	説明会をYouTubeのライブ配 信で行った（採用希望者向け 、総合教育会議、義務教育学 校の検討など）	引き続き同様の取り組みを続 ける	担当課において進行状況及び 数値を管理し、当課はフォ ローしていく
1－（５）	窓口手続きの ワンストップ 化	市民のライフイベント （転入・転出・死亡・結 婚等）手続きに伴い発生 する各種手続きの総合窓 口化（ワンストップサー ビス）	窓口担当職員で構成する窓 口業務改革検討委員会を立ち 上げた	窓口改革検討委員会で、先進 地視察（深谷市）を実施	改修等を行う際は、書かない 窓口、ワンストップ窓口を意 識したレイアウトを行う	担当課において進行状況及び 数値を管理し、窓口改革につ いては当課がフォローする
		死亡時に必要な各種手続 きを一括で行える「おく やみ窓口」の創設	おくやみ窓口を設置した	—	—	
		福祉分野・子育て分野に 対する多様なニーズに的 確に対応するための効率 的な組織体制を検討	令和6年4月1日付で、健康増進 課を再編・子ども家庭課が新 設された	令和7年4月1日付で、就学前 児童対策の一元化を図るため 保育幼稚園課が設置された。一 方、放課後児童対策として生 涯学習課に放課後児童支援係 が新設された	現在、R8年度に向け行革推進 担当において、組織の改編を 検討中	引き続き、実行戦略のリスト で管理
2 職員の生産性向上						
2－（１）	職員作業の効 率化及び 証拠に基づく 政策立案	RPA（人が行う業務のロ ボットによる自動化） ツールの対応業務数の増 加	令和6年度3業務（口座情報登 録、軽自動車税廃車確認、ス ズメ蜂の巣駆除補助金）を追 加	令和7年度1業務追加予定（消 防団員報酬）	RPAのシナリオ作成を職員でも 行えるよう検討する	
		OCR（書類の文字等のス キャンによるデジタル 化）技術の活用	健康診断の問診票の読み込みに 利用	電子申請を増やすことで、OCR の需要が減っている	読み取り精度とのバランスを 見ながら、用途について検討 する	
		デジタル技術の活用を前 提とした業務手順の見直 し	令和5年度に共同開発した生 成AIを活用した答弁書作成支 援システムが本格稼働	BPRワークショップ研修を 実施し、事務手続きの業務改 善スキルを養う	業務の見直しを行ったうえ で、システム等の導入を検討 する	引き続き、実行戦略のリスト で管理
		EBPMに基づく施策推進	企画政策課において統計情報 に基づく政策立案の研修を 実施	Excelを用いたデータ分析 研修を実施	引き続き実施に向け調査研 究を行う	
2－（２）	場所にとらわ れない働き方 の推進	テレワークに必要な規則 等の制定・基盤の整備	テレワーク for LGWANを 活用し、療養期間のリモート ワークを認めている（対象範囲 の拡大等を人事課と協議）	人事課において検証を実施 し、課題の洗い出しを実施	勤怠管理が課題であるため、 ルール作りが必要	担当課において進行状況及び 数値を管理し、当課はフォ ローしていく
		市役所・出先機関等への 安定した業務系ネット ワークの整備・拡充	本庁舎の狭路化対策として、 R5年度の上下水道部に引き 続き、土木管理課、道路建設 が本庁支所移転 公立保育園 の保育室に無線環境を整備	R7.4からコスモスパレットⅡ が供用開始 自営光網から民間 光網へ移行（印旛地区）	次期ネットワークの更新に 向け仕様の検討	
		庁内の職員・他の自治 体・民間団体等とのオン ライン会議の推進	DX推進会議をwebで開催	DX推進会議をwebで開催	引き続き取り組みを継続する	

◆DX推進方針進捗状況一覧◆

N o	DX推進方針の ビジョン	施策例	R6年度の取組内容	R7の取り組み	今後に向けた取り組み	今後の計画への反映
		庁内文書の原則、電子決裁・保存の徹底	専決区分を見直し、電子決裁ができる部長までの決裁が増えた	電子決裁の範囲を市長まで拡大し、原則、電子決裁を行うこととした	引き続き、電子決裁率の向上に取り組む	引き続き、実行戦略のリストで管理
		庁内財務帳票の電子決裁の実施	R7年度は歳入と予算運用に関する帳票で行う	R7年度は歳入と予算運用に関する帳票で行う	支出伝票はR8年度から実施	
2－（3）	弾力的な組織体制の見直し及び外部委託の活用	時代にあわせた組織体制・人事制度等の見直し	窓口の開設時間について、見直しを検討	窓口を短縮することによる影響の調査を実施	R8年度中の実施に向け調整	引き続き、実行戦略のリストで管理
		窓口や事業のコールセンター等での外部委託の活用	物価高騰重点支援給付金実施に伴い外部委託を活用（R5.7～9、R6.1～10）	調整給付金（定額減税補足給付金）に伴い外部委託を活用R7.8～	生成AIによるコールセンターなどのサービスを研究する	
2－（4）	ICTツールの活用・ペーパーレス化推進	市民への窓口対応、職員の業務、会議におけるタブレット端末の活用	会議支援システムを活用し、各種会議のペーパーレス化を図った	各支所で窓口での問い合わせ等にTeamsを利用	R8年度でiPadのリースが終了するため、運用方法等を再検討し、職員用のPCの活用についても検討する	
		庁内で保有するデジタルツールを活用した情報共有の徹底	Teamsを活用し、一般質問答弁書の作成の段階で、修正等をTeams上で行いペーパーレス化を図った	Teamsを活用し、原則、会議での資料はペーパーレスとした	ネットワークの構成を見直し、TeamsをL2/L3環境で利用できるようにする	引き続き、実行戦略のリストで管理
		職員へのセキュリティやツールの操作研修の実施	インシデント対策研修を実施	生成AI活用研修を実施	今後も、生成AI活用研修を継続	引き続き、実行戦略のリストで管理
		データ分析ツールや地理情報システムの活用	こども家庭庁の実証事業に参加	GISに人口データを取り込み、政策立案に利用 PowerBIにより、プリントアウト実績等を可視化	PowerBIなどのツールの活用を検討する	
2－（5）	業務システムやフローの定期的な見直し	国が主導する主な情報システムの共通化・標準化の遂行	R6.9月にDSKのシステムについてシフトを行った	戸籍附票を除き、年度末までに標準化準備完了済み	戸籍附票の標準化対応	
		各担当部署における業務フローの確認やマニュアル等の整備	窓口BPR事業を活用し、窓口の業務フローについて検討した	全庁で仕組化シートを作成、共通の様式で、業務のマニュアルを作成	完成した仕組化シートを元に業務フローの見直し等を行う	引き続き、実行戦略のリストで管理
		チャットボット導入に向けたマニュアル整備	R4年度にAIチャットボットの導入が完了 年次確認のマニュアルを作成	—	—	
3 市の魅力向上						
3－（1）	デジタルツールを活用した移住・定住促進及び観光振興	印西市シティプロモーションプランの遂行	3市周遊デジタルスタンプラリーを、柏市・我孫子市と合同で開催（R6.10～R7.1）	今年度も実施予定	今後も継続の見込み	担当課において進捗状況及び数値を管理し、当課はフォローしていく
		スマホアプリ等の利用者をターゲットにしたイベント開催への協力	千葉市、港区と合同で桜の開花情報をテーマレポートで募集 MCRがフォトコンテストを同時開催（R6.3～4）	今年度は未実施	今後も開催に協力していく	